

憲法と平和、くらしを守り公約実現に全力をつくします 日本共産党21議席から12議席に後退

22日投開票でおこなわれた衆議院選挙で日本共産党は、沖縄1区（小選挙区）で議席を獲得しましたが、比例代表では、前回の20議席から11議席へと後退し、12議席の獲得にとどまり残念な結果となりました。

沼田市での比例代表の得票は、1,963票で前回より557票の減となり、北関東ブロックでは2議席から塩川哲也氏の1議席となりました。



選挙結果を受けあいさつするたなはしせつ子氏

群馬一区のたなはしせつ子氏は沼田市で2,605票を獲得し、前回より644票増えました。

これからもみなさんと力を合わせ、憲法と平和、くらしを守るため全力をつくします。

防災対策、健康づくり、学校給食センター建設について一般質問

大東議員は、介護保険につづいて、利根川水系洪水浸水想定区域の見直しに伴う市の対応を質問しました。

市長は、「被害想定面積が拡大したもので、地域防災計画を見直し、浸水被害が想定される地域への「浸水想定区域図」を配布したい」と答え、ミズノ株式会社との包括連携協定の締結による健康づくりについて市長は、「ミズノ株式会社の持つノウハウやネットワークをいかし、スポーツや健康づくりの事業の充実を図りたい」と答えました。

学校給食センターについて教育長は、「施設の老朽化がすすみ、自校方式との比較検討で、経費の問題などから統合して新たな給食センターを建設することにした」と答えました。

子育て支援団体の活動を紹介 めまた子育てフェスタ

市内で活動する子育て支援団体の活動紹介や保育園児、幼稚園児の作品展がおこなわれた、第9回めまた子育てフェスタが22日、保健福祉センターで開かれました。



菊池政隆先生の「まあせんせいの手あそび・歌あそび・ふれあいあそび」では、多くの親子が楽しみました。

保育園児の作品も展示 上原町ふれあい作品展

第13回上原町ふれあい作品展が14日、15日に上原町区民館で開かれ、保育園児や小学生の作品も含め167名、223点の作品が展示されました。



ふれあい作品展には、絵画、書、手芸、盆栽、パインテック、写真など一般の部には135点の出展がありました。

2017年10月29日

NO. 543

日本共産党 大東のふゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



安倍首相は、「政策を実行し、結果を出していきたい」と改憲などに意欲を示しましたが、数を頼んだ暴走は絶対に許されません。

「マスコミの投票所出口調査でも、「安倍政権が続くのがいい」46%、「代わるのがいい」47%と拮抗していたことから明らかです。」

「改憲や消費税増税に拍車をかける声が上がって、選挙中は改憲や消費税増税、原発推進なども語らず手にした「虚構の多数」です。」

「自民党は、政党を選ぶ比例代表では33%の得票率で全議席の61%を獲得しましたが、その3分の2以上は、大多数の投票が議席に結びつかない小選挙区での選出で、国民の意思が正しく議席に反映されているとはいえません。」

こんにちは 大東のふゆき です



続ぶらり散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その三十四

今井町とおとこし様

今井町は、木曾義仲の四天王の一人、今井四郎兼平の一族が落ちのびてきたと伝えられています。

今井町には、大人と子どもの墓を別々にするという両墓制が残っていました。



両墓制は、死者を埋めた「埋墓」（うめはか）と住まいの近くにお参りをするための「詣墓」（まいりはか）を別々にするという送葬の風習で、利根沼田では片品村にわずかに残っているとされていますが、大人の墓と子どもの墓を別々にする今井町の両墓制は珍しい風習です。



今井町の家「おとこし様」とよばれる、男根形の石（金精様）が祀られています。

子どものいない女性がお参りし、この石をなざると子どもを授かることができるといわれ、昔は川田地区だけでなく沼田や吾妻郡からも多くの女性が訪れたといわれ、子どもを授かった人がたくさんいたそうです。